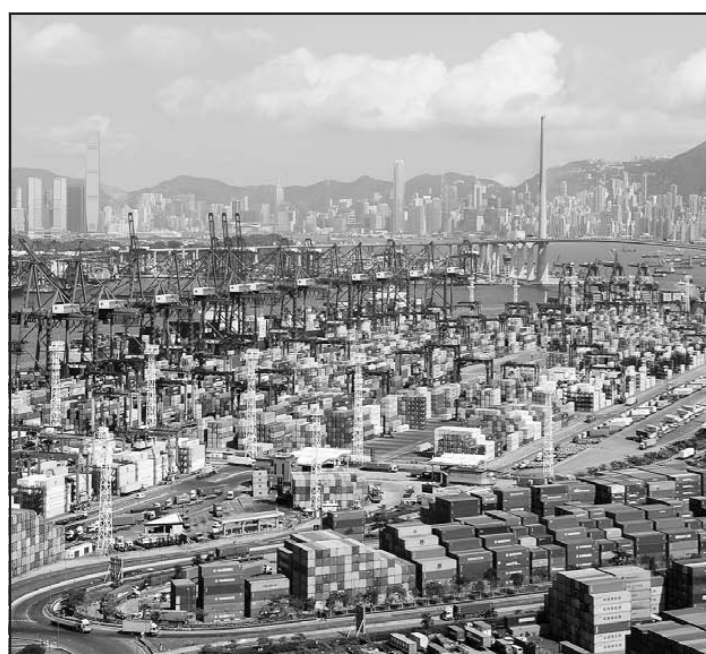


活況を呈する 香港の魅力なビジネス・投資環境



日本は香港にとって3番目に大きな貿易パートナー

巨大な成長市場である中国への主要な玄関口であり、アジアにおける資本主義の優等生として発展を続ける香港。中国に返還されてからほぼ15年を経た今も、香港は以前と変わらずに旺盛な起業家精神とビジネスマインドを保った自由市場の雄として、他では得難い利益実現機会を提供している。

増大する 日本と香港の貿易

日本は香港にとって主要な貿易相手国であり、直接投資の源泉国でもある。東日本大震災による打撃にもかかわらず、2011年における日本と香港間の貿易は4%増加した。これは、07年から11年までの平均成長率3%を上回っている。また、昨年における日本の対中貿易のうち11.4%は香港を経由して行われた。

日本と香港間の旅行や輸送などのサービス貿易の増加は、さらに速い。10年の香港から日本へのサービス輸出は、価格ベースで13.9%と大幅に増加し、日本から香港へのサービス輸出も21.5%と急拡大した。

日本から香港への投資も活発だ。10年末現在、日本から香港への直接投資は、累計で238億米ドルと世界6位。投資の主な理由の一つは、香港が世界経済の重要な駆動力として、消費財を流通させる世界的なシステムに中国の生産力を広げる役割を果たしているからだ。

中国の第12次5カ年計画（15年まで）を見れば、11年に比しての実質成長を実現した

香港経済の好調を維持している。中央政府の意志は明確だ。金融・貿易センターとして香港が繁栄を続けるため、中央政府が政策支援をしていくことを約束している。中国は、金融市場に投資を呼び込み、世界経済における「元」の役割を拡大する「ラットフォーム」としての香港の能力を最大限に活用する方針であることが、5カ年計画に示されている。

オフショア人民元市場 としての香港

5カ年計画には、オフショア人民元市場の発展を促す一連の政策が含まれる。昨年8月、第一級のオフショア人民元ビジネスセンターとしての香港の地位を強化するための追加政策が発表された。政策では、香港企業が中国への直接投資をする際に人民元を使うことを奨励し、人民元価格

海外機関投資家（RQFII）制度を利用した中国株式市場への投資を認めるための措置が示された。こうした政策は、オフショアおよびオフショアの人民元資金の流通を拡大し、より革新的な人民元建て金融商品の発売を促進すること、投資家、金融機関、さらには金融市場全体にとっても大きな利益をもたらす。

中央政府は、オフショア人民元債券市場の長期的な発展を確実に実現していく意図を明確にしている。人民元建て債券を香港で発行する国内金融機関の数を増やし、その発行量を拡大するための政策に加えて、中央政府は金融機関以外の国内企業にも香港での人民元債券の発行を認めた。実際、オフショア人民元市場は急速に成長している。

「香港デザイナーズウィーク」開催

會陳維行政長官のイニシアチブで「香港デザイン年」に指定された今年、香港経済貿易代表部（東京）では、デザインアソシエーションNPOと共同で、5月15日から20日まで、「Hong Kong+Japan crossing partnership in creativity 香港デザイナーズウィーク」を開催する。

東京都や香港および日本のクリエイターたちの協力を得て行われる同プロジェクトは、香港と日本のデザイナーによる創作や作品展示を通して両者間の関係を強化し、交流を促進しようとするもので、双方の子どもたちも共通のテーマで参加する。

プロジェクトは2つのイベントで構成される。一つは、香港のトップクリエイターであるダニー・ヨン氏の代表作品「天天向上-Tian Tian Xiang Shang（毎日進歩するの意）」を軸に展示と参加型ワークショップを組み合わせたイベントだ。15日から20日まで東京・丸ビルで開催される展示会では、高さ5mの天天像に加え、香港と日本のデザイナーと子どもたちが制作した330の天天像が披露される。ヨンは4月に岩手県陸前高田市の小学校でクリエイティブ課外授業を実施しており、今回展示される天天像の一部は、その際に約100人の児童がデザインしたもの。展示会では来場者が天天像にデザインを施すワークショップも開催される。

もう一つのイベントである「クリエイティブ・アジア・フォーラム」は15日午後、香港と日本のクリエイターの対話やコラボを促すことを目的に開かれ、双方のクリエイティブ産業のスピーカーと約300人の参加者が、文化ハブや創造性教育といったテーマについて意見交換する。経済産業省や東京都の代表者が開会のスピーチを行う予定だ。

企画制作
日本経済新聞社
クロスメディア事業局

国際化へのパートナー

日本との関係をさらに拡大するため、香港貿易発展局（G.T.O.）は「香港国際化へのパートナー」を5月に日本で開催する。同シンポジウムは、BAL think HONG KONGの国際化へのパートナー「香港」をテーマに、香港が持つ中国や諸外国との深く強力なつながりを全面的に活用できることを強調する。



中国のグローバル金融センターの役割をもつ香港

△は15日に東京で、17日に大阪で開催されるが、日本商工会議所の岡村正会長による基調講演のほか、日本と香港の多数の財界人によるスピーチも予定されている。

同シンポジウムは14を数える香港の業界団体や政府機関、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）、独立行政法人中小企業基盤整備機構、東京商工会議所、大阪商工会議所、および100を超える団体の共催・後援・協力ので開催される。シンポジウムでは、アジアの主要市場、特に中国本土のビジネス機会をどうとらえるかという日本企業にとって、香港進出がどのような利益をもたらすかに焦点を当てる。

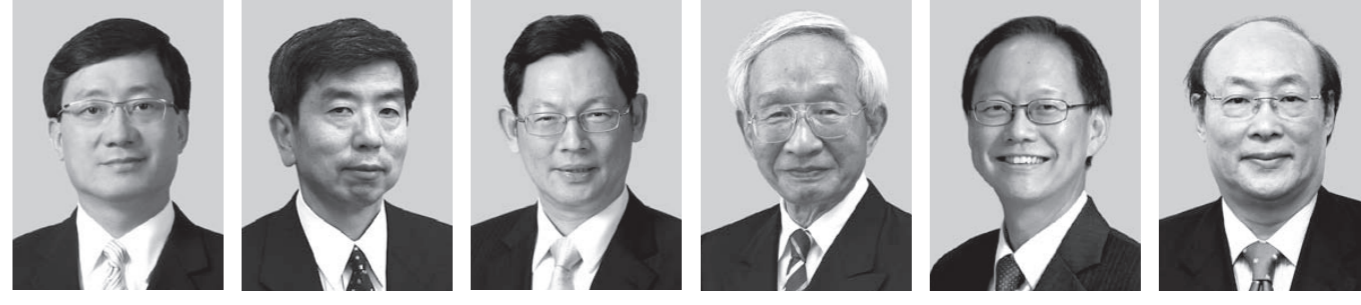
香港貿易発展局のアレック・ド・ラム総裁は、「香港には多種多様な国際ビジネスサービスがあり、アジアや世界の市場を開拓しようとする日本の中小企業にとって最良のパートナーになれる」と語る。

イベントでは、60人近い香港（日本の著名なスピーカー）がアジアにおける新しいトレンドや事情について講演する。香港の専門サービス企業やコンテック、テクノロジー、健康食品といった産業の代表者も参加し、香港進出を希望する日本企業に実践的なアドバイスを提供する予定で、個々の成功も紹介する」と同総裁は説明。「海外市場への進出を考慮するパートナーに香港を検討してほしい」と強調する。

国際化への パートナー：香港

think
GLOBAL
think
HONG
KONG

参加費無料・同時通訳付
本日開幕します！



林天福 香港貿易發展局 総裁
中尾武彦 財務省 財務官
陳德霖 香港金融管理局 総裁
岡村正 日本商工会議所 会頭
陳南棟 恒隆不動産 社長
宋鄭運 好孩子集団 会長

香港貿易發展局では、大型シンポジウム“think GLOBAL think HONG KONG”（国際化へのパートナー：香港）を開催します。日本と香港のビジネスパーソンが一堂に会し、日本と香港の経済産業協力関係をアジア経済推進の重要な動力にすべく、様々なセッションを通して世界市場の動向や課題について討議します。

日時：5月15日（火）東京（会場：ホテルニューオータニ東京）
5月17日（木）大阪（会場：帝国ホテル大阪）
主催：香港貿易發展局
共催：独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構



詳細は www.thinkglobalthinkhk.com をご覧ください。

ペアを組みましょう パートナーをお探しですか？ 香港が力になります



東京のレインボーブリッジ 香港の青馬大橋

香港と日本は長年にわたる貿易パートナー。中国への主なゲートウェイである香港は、中国本土にあふれるチャンスをつかもうとする日本企業にとって最高のパートナーともなるでしょう。

香港は、その独特の地位により中国進出の理想的な拠点となっています。中国本土との間に結ばれた特別な貿易取り決めや、香港と珠江デルタのシナジー、また人民元業務の一大中心地としての香港の役割が、香港を通じて中国ビジネスを展開する企業に圧倒的な利点を提供しているのです。

多くの国際的なブランドが、香港を最も重要なテスト市場として利用しています。ショッピング目的で香港を訪れる中国本土観光客が毎年何百万人にも上る中、香港での成功は本土市場の攻略につながります。

世界のビジネス都市ランキングで常に上位に入る香港は、あなたのビジネスのニーズにワンストップでお応えします。

二本で一膳のお箸のように、ペアの方がうまくいく

香港のさまざまな利点の活用法については、下記までお問合せください：
香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部
Tel: (03) 3556-8980 E-mail: tokyo_enquiry@hketoty.gov.hk
www.hketoty.gov.hk

香港への事業進出については、下記をご覧ください：
www.investhk.gov.hk

香港の取引相手をお探しなら、下記をご覧ください：
<http://japan.hktcdc.com>

香港の観光情報は、下記をご覧ください：
www.discoverhongkong.com

